

4.1 ◆ 寄せと流し込み

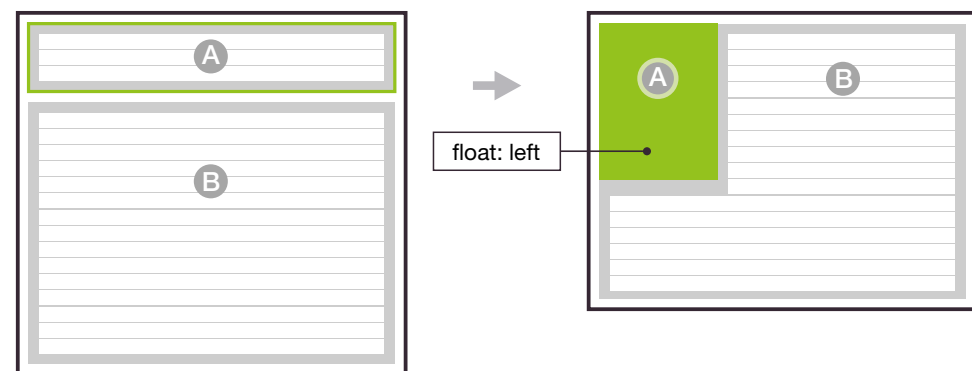
この章では、float プロパティを利用したレイアウトの方法をパターン別に4つに分け、文章のレイアウトから、2カラム、3カラムといったマルチカラムレイアウトの実現方法を解説していきます。

float プロパティは、ボックスの配置を指定するプロパティです。float プロパティを使って、指定したボックスをフロート（浮かす）させて通常フローから外し、左または右に寄せることができます。値には寄せる方向を決定する left、right、そして寄せを行わない none があり、初期値は none です。

float プロパティを指定するボックスは幅を明示しておく必要があります。img、object、input、select といった固有の寸法を持ち、特定の内容に置き換えられる要素（置換要素）以外への適用には、同時に width プロパティで幅を指定します。指定されていない場合、ボックスの幅は 0 として扱われます（CSS 2.1 の仕様では内容に合わせて縮めた幅になります）。

まずは、float プロパティの基本的な使い方である、寄せと流し込みによるレイアウト方法です。通常フローではブロックボックスは上から下へ縦方向に配置されますが、図表と文章といった関連するボックスは、横方向に配置されていたほうが内容を理解しやすいでしょう。float プロパティを使用することで、指定したボックスを通常フローから外して横方向に配置することができます。

■ 寄せと流し込み



画像を寄せる

次のような XHTML を記述し、画像を文章の横に配置させてみましょう。

XHTML

```
<p>
<p>Photoshopで使用できるアクションとスタイルを製作しました。スタイルを適用した図形は、グラデーションとドロップシャドウ、ハイライトの各パラメータが調整され、光沢のある表現になります。
<p>任意のレイヤーだけに使うことができますが、エフェクトをかけたいレイヤーの名前をmainにしておいて下さい。文字には前もって白以外の文字色を設定しておく事をお勧めします。アクションファイルとスタイルファイルが入っていますので、必ず読み込んで下さい。
</p>
```

CSSの記述では、img要素にfloat: leftを指定して左に寄せ、反対側へのテキストの流し込みを許可します。また、画像とテキストとの間に適度な余白を入れるためにmarginを指定します。

CSS

```
img {
    margin: 0 1em 1em 0;
    float: left;
}
```

■ 画像を左に寄せる



Photoshopで使用できるアクションとスタイルを製作しました。スタイルを適用した図形は、グラデーションとドロップシャドウ、ハイライトの各パラメータが調整され、光沢のある表現になります。

任意のレイヤーだけに使うことができますが、エフェクトをかけたいレイヤーの名前をmainにしておいて下さい。文字には前もって白以外の文字色を設定しておく事をお勧めします。アクションファイルとスタイルファイルが入っていますので、必ず読み込んで下さい。

表を寄せる

float プロパティは画像以外のさまざまな要素に指定できますが、置換要素以外の要素への適用には同時に width プロパティで幅を明示しなければなりません。このことを踏まえ、画像と同様に table 要素を文章の横に配置させてみましょう。